

令和 4 年 3 月 16 日

苫小牧市長
岩倉 博文 様

平等社会を推進するネットワーク苫小牧
会 長 中 村 こ ず え

令和 3 年度 提言書

平素より、当会の活動に対しまして ご配慮ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

また未だ終息の兆しが見えないコロナ災禍の下、首長として様々な課題に対して
ご尽力いただいておりますことに 市民として心より感謝の意を表します。

さて、私どもは 昨年来よりメディアや講演等で岩倉市長の施政方針を知り得る
機会が多かったことから、今年度は関連する下記の内容に関しまして、提言をさせ
ていただきます。施策に反映していただけますよう謹んでお願い申し上げます。

記

1. ジェンダーギャップ解消への一層の取り組みについて
2. 保育士、介護職等の専門職に従事する人材育成について

以 上

1. ジェンダーギャップ解消への一層の取り組みについて

2021年の男女格差を測るジェンダーギャップ指数の日本の順位は、156か国中120位でした。順位を引き下げている要因は明確ですが、それを解消するためには多様な制度等の確立と共に、女性自身の意識改革が必要不可欠となります。

市は、日本女性会議開催後に市民と一体となった「市民会議」を定期開催しております。我々女性に何が足りないのか考えてみますと、社会的に成長できる「場」への参加なのではないかと思えます。この市民会議や様々な場へ、限られた枠組みではなく、多方面からの女性参加を推進して機会を与えていただきたいと思えます。また働く女性たちにとっては日中の会議への参加は大変困難です。発想転換して夜間開催も視野に入れると共に、市が積極的に企業への協力を求めて「実社会で働く現役世代の女性たちの参加を促し、生きた討論ができる場」を一つでも多く設定して、ギャップ解消への足掛かりとしていただきたいと思えます。

2. 保育士、介護職等の専門職に従事する人材育成について

当会は、今年度の新型コロナウイルス感染拡大の影響による「困難を抱える女性のための緊急サポート事業」の一端を担わせていただきました。近年は女性就業者が増加していますが、社会情勢に影響を受けやすい非正規雇用の割合が極めて高く、女性が貧困に陥る要因となっています。貧困解消のためには、男女間格差の是正に取り組むことが急務となります。女性の「経済的自立」が貧困を防ぐ手段であることは言うまでもありません。経済的自立は精神的自立に繋がり、昨年開催された市民会議事業「自分らしさ応援 EXPO」の主題である「自分らしく生きる」ための基盤ともなります。また幼児期からの教育や、その教育に携わる人材を育成することは、男女の別なく意識の醸成を促し、結果、女性の自立への重要な要素となります。そのためには具体的な方策を講じなければなりません。

市内には保育士や幼稚園教諭、介護福祉士等の介護に関わる専門職資格取得のために学べる学校がありません。市外で学ぶことは経済的負担を強いられ、その先の若者の人口流出にも繋がります。「地元で学べて地元で働く場所がある」ことは、町の活性化の一助となり多方面での好循環を生み出します。

幼児教育にも高齢者介護にも、意識を持った優れた人材を育成することは、市にとっても大きな財産となります。市の主導で、早急に養成校設置や学部の設置を北洋大学に要請するなど、考えられる可能性を探り、前向きに望む人たちが、将来への展望を描くことができる苫小牧市であっていただきたいと思えます。